**第８１回観察会　2009年12月15日(火) 12:05～12:50　晴れ**

**テーマ『トトロを探そうPart II**

**─どんぐりから追跡する─』**

**☆案内人作句**

バク転の空から降りるどんぐりと

トトロとは森の主神とホラを吹く

縄文の我は森の子どんぐりっ子

笛吹けばトトロ来たりて森の宴

園丁の大人（うし）の命（みこと）とトトロ道

ガイド：鎌田東二さん（京都大学こころの未来研究センター）

**☆参加者の感想**

* 法螺貝や岩ぶえなど、めずらしい楽器の音色が聞けておもしろかったです。学生が少ないみたいなので、もっと宣伝したらどうですか！  
  （初めての参加、１８～３０才、男性、理学部数学教室院生のかた）
* ほら貝が、動物の声のようにきこえました。  
  （参加～１０回、３０～６０才、女性、京大近辺のかた）
* トトロの話をこれ程深く多方面から考察して面白く話をして貰ったのは初めてです。読み方を変えても一度読み直します。  
  （参加～５回、京大近辺のかた）
* 楽しいお話感銘！植物園の冬も素晴らしい。時々は「俳句」の紹介も。  
  （６０才以上）
* とても楽しく面白く興味深かったです。ありがとうございました。  
  （参加～５回、３０～６０才、女性、京都市外のかた）
* とても楽しい会でした。話もおもしろくて又来たいと思います。  
  （初めての参加、３０～６０才、女性、京大近辺のかた）
* 「目に見えないものを目に見えるものを通して聞いている」いいですね。  
  (はじめての参加、６０才以上、男性、京都市外のかた)
* こんなに殺ばつとした世の中に比えい山に祈って下さる先生もいて下さって、お話もきけて心豊かに感謝してすごさせていただきたいと思います。  
  （参加１０回以上、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* いつも京都新聞で興味ある記事を見て、楽しみにしていました。やっぱり楽しくすごさせていただきました。“高野聖”読んで見ます。“大山”行ってみます。  
  （参加１０回以上、３０～６０才、女性、京大近辺のかた）
* 目の前で森や自然について語る人が、賢人（学者）なのか、詩人なのか、音楽家なのか、シャーマンなのか、天狗なのか、わからなかった。おそらくすべてであるのだろう。法螺を自在に操り、石笛や竹笛を鳴らし、落ち葉の上で＜バク転＞をし、これはまるでひとつの劇場だ。植物園自然小劇場。この劇のなか、演者の語るコトバと身体の変化が、徐々に自分にうつってくる感覚を得た。この人は、原始の時代にはごく普通に行われていたわたしたちと自然との、あるいはわたしたち同士のコミュニケーションの原初的な形態を取り戻そうとしているのではないかと思った。決してコトバにできないもの、あるいは自然や世界をつかさどるうなものの存在をわたしたちに感じせしめようとして、コトバとともに身体的なるもの（あるいは五感、六感、七感までも）を動員しているように感じた。あした、『トトロ』を見てみう。演者とこの意義深いステージを準備してくださったみなさんに感謝します。  
  （参加～５回、３０～６０才、男性、附属図書館のかた）